

第1回 和歌山市立学校適正規模適正配置調査検討委員会 会議録概要

《日時》 平成20年7月16日(水) 午後4時～午後5時30分

《場所》 教育文化センター 2階 第2会議室

《出席者》和歌山市立学校適正規模適正配置調査検討委員会委員(13人) 敬称略

会長 矢菰喜孝(和歌山大学教育学部 教授)

副会長 杉山清一(和歌山市自治会連絡協議会 会長)

委員 足立基浩(和歌山大学経済学部 准教授)

川野雅章(和歌山商工会議所 青年部監事)

神崎務(楠見小学校 教諭)

貴志節子(前広瀬小学校 校長)

金原佐知子(伏虎中学校 教諭)

坂下重幸(和歌山市小学校PTA連合会 会長)

田中志保(弁護士)

鳥居賀柄子(宮前小学校 校長)

野間弓子(前加太中学校 校長)

矢野幸茂(和歌山市中学校PTA連合会 会長)

米田哲朗(河西中学校 校長)

事務局(12人)

教育長 大江嘉幸、教育局長 樫原義信

教育総務部長 原一起、学校教育部長 澤井勉

教育総務課長 川口雅広、教育施設課長 坂上賢一郎

学校教育課長 三木勇次、教職員課長 楠井和樹

教育総務課副課長 坂東貞次、教育総務課専門教育監補 楠見健

教育政策班長 田中利幸、教育総務課企画員 中村智裕

《会議次第》

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 教育長挨拶
- (4) 委員紹介
- (5) 事務局職員紹介
- (6) 会長、副会長選出
- (7) 配布資料確認、録音許可

● 配布資料

資料1・・・議案関係資料

資料２・・・和歌山市立小・中学校児童生徒数及び学級数の推移

資料３・・・和歌山市の教育に関するアンケート 調査結果報告

(８) 議事

- ①諮問について
- ②会議の公開について
- ③会議の日程について
- ④和歌山市の学校規模等の現状について
- ⑤その他

(９) 閉会

《会議内容》

１. 委嘱状交付

大江嘉幸教育長から各委員に委嘱状を交付

２. 会長、副会長選出

会長 矢萩喜孝（和歌山大学教育学部 教授）

副会長 杉山清一（和歌山市自治会連絡協議会 会長）

３. 諮問について

大江嘉幸教育長から和歌山市立学校適正規模適正配置調査検討委員会 矢萩会長に市立小・中学校の適正規模・適正配置に関すること及びそれらに係る具体的方策に関することについて諮問を行った。

４. 会議の公開について

会議の傍聴、撮影、録音については教育委員会の取り扱いに準ずる。（申請により許可できるが、委員会の決定で不許可もありうる。）会議録の概要を作成し、和歌山市のHPに掲載していく。

５. 会議の日程について

今年度は、今回を含めて、８月、１０月、１月の計４回。来年度は、５月、７月、８月、１０月の計４回。合計８回を予定する。

６. 事務局からの説明

①和歌山市の学校規模等の現状について、事務局から、児童・生徒数、学級数を中心に和歌山市の現状、経過、将来推計について説明した。

・今年度、市立小学校５２校のうち、特別支援学級を除いて全校で６学級の規模の学校が１０校、７～１１学級が９校、１２～１８学級が２７校、１９～２４学級が３校、２５学級以上が３校となっている。市立中学校１８校のうち、３学級が１校、９～１８学級が１４校、１９～２４学級が３校となっている。

・小学校は昭和５５年度をピークに、また、中学校は昭和６１年度をピークに

児童・生徒数、学級数は減少傾向にある。

- ・現在、小学校に分校が4校（虎伏分校及び休校中の滝畑分校を含む）ある。

②和歌山市の教育に関するアンケート調査結果報告の適正規模・適正配置の項目について説明した。

- ・小学校は「1学年2～3学級がよい」という回答が多かった。
- ・中学校は「1学年4～6学級がよい」という回答が多かった。
- ・学校の統廃合について、不安と期待を同時に持っている人が多いのではないかと結果が出ていた。

7. 主な意見

- ・適正ということばの意味をどのように考えればいいのか。
- ・適正規模というのが即、統廃合に結びつくということではなく、あくまで教育環境の充実を目指す中での、選択肢の一つとして考えていきたい。
- ・他の自治体の事例、特に和歌山市と類似している都市の事例を参考にしたいかどうか。
- ・学校規模と学力との関係について検討できないか。
- ・子どもの生きる力を育てるということを念頭に議論をしていきたい。
- ・資料については、できるだけ前もっていただきたい。